

# 第1学年 美術科学習指導案

日時 平成27年10月29日(木) 公開授業Ⅳ  
生徒 1年3組 男子15名 女子17名 計32名  
指導者 小原 久美子

## 1 題材名 色彩学習「イメージを色と形で表そう」～色の達人になろう!～

### 2 題材について

#### (1) 題材について

本題材は、学習指導要領の1学年の内容A表現(2)ア「目的や条件などを基に、美的感覚を働かせて、構成や装飾を考え、表現の構想を練ること」(3)ア「形や色彩などの表し方を身に付け、意図に応じて材料や用具の生かし方などを考え、創意工夫して表現すること」及び共通事項(1)ア「形や色彩、材料、光などの性質や、それらがもたらす感情を理解すること」イ「形や色彩の特徴などを基に、対象のイメージをとらえること」をもとに設定したものである。

共通事項は全題材の学習に必要なものである。本題材で取り上げる色彩についての基本を学ぶことは、全学年で行う鑑賞、2学年で行う「詩を彩るイラストレーション」(デザイン)、3学年で行う「自我像」(絵画)にも有効であり、またアクリルガッシュのデザイン的な彩色方法を学ぶことは、2、3学年で行う描く活動(上記)の表現の幅を広げることにも繋がる。以上を踏まえ、本題材を設定した。

共通事項は小学校の学習指導要領にも設定されており、各題材で触れられているものである。小学校で学んできたことを生かしつつ、色彩に関する知識面での裏づけを基に創意工夫して表現させたい。

#### (2) 生徒について

色の学習では、見本を見て色を作ったり、モチーフに合う色を選んで彩色することは行ってきたが、発想・構想面としてイメージに合う色を根拠を持って自分で決めることは未体験である。本時の学習では、小学校から培ってきた色や形、イメージの関係性を、基礎的用語を学びながら系統立てて整理し、言葉でのイメージを色に置き換える力を身に付けさせたい。また、技能面に関しては、アクリルガッシュで彩色すること自体は好きな生徒が多いが、決められた範囲をムラなくはみ出さず彩色する力には課題が残る。絵画的彩色方法とデザインの彩色方法の違いを理解し、意図に応じて創意工夫して表現する力を養っていききたい。

#### (3) 指導にあたって

まずは色彩学習に関しては、有彩色・無彩色、色の三要素等、色彩についての基本を学ぶ。その後寒暖・軽重・強弱の感情と色の三要素との関係を学び、応用として、自分の選んだ主題のイメージを3色以内で表現できるようにする。その際、イメージを表現するに相応しい線(直線・曲線・フリーハンド)で画面を分割し、色と形の両面からイメージに迫るよう指導する。

彩色の技能に関しても、ムラなくはみ出さず彩色するための水加減や使用する筆の種類、順序などを指導し、美しく彩色する力を身に付けさせたい。

過年度の作品を提示することで完成形をイメージさせ(「見通す」)、「学習の手引き」で自己評価することで分かったことや分らなかったことを明確にし(「振り返る」)、次の学習につなげていきたい。

### 3 題材の目標

- 作品制作や鑑賞活動に主体的に取り組むようとしている。 【美術への関心・意欲・態度】
- 目的や条件などを基に、形や色彩の効果を生かして構成を考え、表現の構想を考えることができる。 【発想や構想の能力】
- 形や色彩などの表し方を身に付け、表したいイメージを創意工夫して表現することができる。 【創造的な技能】
- 作品のイメージ、作者の意図や工夫などを感じ取り、自分の思いや考えを持って味わうことができる。 【鑑賞の能力】

#### 共通事項

- 色彩や形の性質、それらがもたらす感情を理解することができる。 【共通事項ア】
- 「楽しい」「優しい」等自分が選択した主題のイメージを色と形で表現することができる。 【共通事項イ】

### 4 指導計画

次	時間	学習内容	次	時間	学習内容
第1次	3	色彩学習 ④ ⑤	第3次	2	イメージと色(本時) ⑥ ⑦ 彩色 ④ ⑤
第2次	2	色と感情 イメージと形 ⑥ ⑦	第4次	1	鑑賞会 ⑤ ⑥

## 5 本時の指導について

### (1) 目標

- ・自分で選んだ主題のイメージを表現するには何色を使えばよいか三色以内で考え、配色計画を立てる。 【発想や構想の能力】
- ・配色を考えて表現することに関心を持ち、主体的に構想を練ろうとする。 【美術への関心・意欲・態度】

### (2) 評価規準

観点	B おおむね満足できる	Bに到達させるための手立て
発想・構想	自分で選んだ主題のイメージを表現するには何色を使えばよいか三色以内で考え、作品にメモしている。	資料集や学習プリントからヒントを与える
関心・意欲・態度	配色を考えて表現することに関心を持ち、主体的に構想を練ろうとしている。	まずは一色から考えるよう声をかける

### (3) 指導の構想

- ・「学習の手引き」による自己評価（発見または疑問・感想または次時の目標等を書かせる）
- ・「見通す」：過去の作品を見ることで、完成形の見通しを持たせる。  
「振り返りテスト」で既習事項を確認させ、既習事項を使えば本時の課題解決に繋がるという見通しを持たせる。
- ・「振り返る」：イメージを表現するための色を決定したら、使用する色を記入することで、決定事項を明確に意識化させる。

### (4) 展開

段階	学 習 活 動	形態	○教師の働きかけと指導上の留意点 ●評価の観点（方法） ☆「見通す・振り返る」活動
導入 5分	1 前時の学習を想起する。	全	○ 「学習の手引き」を用い、前時の学習を想起させる。
	2 本時の課題を確認する。	全	☆ 生徒作品を見せ、完成作品のイメージを持たせる。
自分のテーマ「○○○」を表現するには、何色を使えばよいだろう			
展開 35分	3 課題解決に必要な既習事項を思い出し、本時の見通しを持つ	全	☆ 振り返りテストを実施することで、寒暖・軽重・強弱と色の三要素との関係を思いださせ、イメージを色で表現するには色の三要素を意識すればよさそうだという見通しを持たせる ● 【関心】 挙手で発言 【鑑賞】 30秒振り返りテスト
	4 作業手順を確認する。	全	○ 以下を板書により確認させる ・ 3色以内で表現する ・ 配色計画を作品に薄くメモする ・ 時間があったら彩色を始める ・ 自己評価は彩色予定の色を記入
	5 配色計画をする。	個	☆ 配色カードを使って実際の色を目にすることで、組み合わせによるイメージの見通しを持たせる ☆ 3色以内で色を決めたら、使用する色を作品に薄く記入することで、決定事項を明確に意識化させる。 ○ 机間指導により、Bに到達できていない生徒に声かけ。 ● 【関心】 作業の様子を観察 【発想】 作品のメモを観察
終末 10分	6 片付けを行う。	個	○ 片づけが不十分な生徒に声掛けを行う。
	7 本時の振り返りをする。	個	☆ 本時の活動を振り返り、「学習の手引き」に自己評価を記入させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">私は「○○○」（自分が選んだテーマ）を、▲▲（色名）と△△（色名）と▽▽（色名）を使って表現する予定です。</div> ● 【関心】 学習の手引き
	8 次時の学習内容を確認する。	全	○ 次時は今回決めた計画を基に、作品に彩色することを説明する。